

InfoCom ICT 経済アップデート

ICT 経済、3 四半期ぶりに増加

(株)情報通信総合研究所(本社:東京都中央区、代表取締役社長:大平 弘)は、情報通信(以下、ICT)産業が日本経済に与える影響を把握するために「ICT 関連経済指標」を作成し、四半期ごとに公表しております。本日、「InfoCom ICT 経済アップデート」について2019年7-9月期がまとまりましたのでご報告いたします。

【2019年7-9月期のポイント(前年同期比)】

ICT 経済は3期ぶりに増加に転じた。ICT サービスは20期連続増かつ増加幅が拡大し好調を維持している。一方、ICT 財はマイナス5.1%と3期連続で減少したが、減少幅は縮小した。ICT 在庫は減少に転じ、生産調整が進展している。ICT サービスが好調な上、ICT 生産が下げ止まったことから、ICT 経済が回復に向かい始めたと思われる。

需要サイドは、ICT 輸出が4期連続でマイナスを記録し、それが生産面に波及している。ICT 輸入は増加から減少に転じた。ICT 設備投資は4.1%増と3期ぶりに増加に転じた。ICT 消費は堅調に推移し7.5%増となった。

中国経済の減速、世界的なスマートフォン需要の一巡を背景に低迷した ICT 輸出は一部底入れ感がみられるものの回復には至っていない。輸出と連動する ICT 生産の本格回復には今少しかかりそうである。

図表1 ICT 関連経済指標の推移

			四半期									月次			
			2017年			2018年			2019年			2019年			
			4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7月	8月	9月
総合	財・サービス	前年比(%)	3.5	2.2	1.5	1.1	1.7	1.6	2.0	-0.1	-0.1	2.0	-0.2	1.4	4.4
供給	財	前年比(%)	4.5	2.5	3.1	1.6	1.2	0.1	1.4	-1.7	-2.3	-0.8	0.7	-4.7	1.3
		ICT・前年比(%)	11.0	2.8	3.8	3.1	1.7	3.0	0.4	-9.4	-10.2	-5.1	-6.1	-8.6	-0.8
		ICT・寄与度(%)	1.1	0.3	0.4	0.3	0.2	0.3	0.0	-1.0	-1.1	-0.6	-0.7	-1.0	-0.1
	サービス	前年比(%)	1.2	0.7	1.2	1.0	1.1	0.5	1.3	1.1	0.9	2.1	1.5	0.7	4.1
		ICT・前年比(%)	1.7	2.0	0.9	0.6	1.7	1.2	2.4	2.3	2.6	3.9	1.5	4.2	5.7
		ICT・寄与度(%)	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.3	0.3	0.5	0.2	0.5	0.7
需要	消費	前年比(%)	0.7	0.8	1.3	2.0	-1.3	1.9	0.8	2.3	3.5	4.1	1.4	1.3	9.8
		ICT・前年比(%)	7.9	9.4	9.5	2.4	1.8	1.6	3.2	2.7	3.7	7.5	3.2	4.5	14.8
		ICT・寄与度(%)	0.4	0.5	0.5	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.5	0.2	0.3	1.0
	機械受注(民需)	前年比(%)	-1.0	-2.5	0.0	0.2	8.0	4.8	2.0	-2.5	4.1	-2.7	0.3	-14.5	5.1
		ICT・前年比(%)	3.4	1.3	2.0	4.1	3.5	-1.5	0.9	-5.8	-2.0	4.1	3.5	2.8	5.4
		ICT・寄与度(%)	1.3	0.5	0.8	1.6	1.4	-0.6	0.3	-2.4	-0.8	1.5	1.2	0.9	2.3
	機械受注(官公需)	前年比(%)	1.9	1.0	-12.7	-7.8	1.1	19.5	9.3	-24.0	13.6	-8.8	-18.3	37.7	-26.3
		ICT・前年比(%)	-0.8	-11.8	-2.9	-1.1	11.9	31.1	4.5	-13.9	21.9	9.1	-11.4	72.2	-15.6
		ICT・寄与度(%)	-0.4	-5.4	-1.0	-0.4	6.3	12.4	1.7	-5.4	12.9	4.0	-4.5	36.1	-6.8
	輸出	前年比(%)	10.5	15.1	13.0	4.9	7.5	2.9	1.3	-3.9	-5.5	-5.0	-1.5	-8.2	-5.2
		ICT・前年比(%)	12.6	12.9	14.6	2.5	6.7	4.1	-7.0	-9.3	-10.1	-9.7	-10.4	-12.0	-6.7
		ICT・寄与度(%)	1.6	1.7	1.9	0.3	0.9	0.5	-0.9	-1.2	-1.3	-1.3	-1.4	-1.7	-0.9
	輸入	前年比(%)	16.2	14.8	17.0	7.5	7.5	12.4	11.2	-1.8	-0.2	-5.0	-1.2	-12.0	-1.5
		ICT・前年比(%)	15.8	13.8	21.2	4.5	-1.2	5.6	2.6	-3.8	2.0	-3.8	-1.9	-12.7	2.5
		ICT・寄与度(%)	2.1	1.8	3.0	0.6	-0.2	0.7	0.4	-0.5	0.2	-0.5	-0.2	-1.5	0.3
	輸出数量	前年比(%)	4.8	6.2	4.8	4.2	5.6	-1.1	-1.4	-5.1	-6.1	-2.2	1.6	-6.0	-2.4
		ICT・前年比(%)	6.1	6.9	10.3	2.9	5.5	-1.4	-12.6	-13.2	-12.1	-9.1	-7.6	-12.4	-7.0
		ICT・寄与度(%)	10.8	5.1	12.1	2.5	-0.7	1.5	-0.2	-1.1	1.8	8.0	9.8	-3.1	17.7
輸入数量	前年比(%)	5.9	2.7	5.5	3.7	1.4	2.0	4.0	-1.8	-0.1	2.3	6.8	-6.0	6.8	
	ICT・前年比(%)	10.8	5.1	12.1	2.5	-0.7	1.5	-0.2	-1.1	1.8	8.0	9.8	-3.1	17.7	
	ICT・寄与度(%)	10.8	5.1	12.1	2.5	-0.7	1.5	-0.2	-1.1	1.8	8.0	9.8	-3.1	17.7	

※経済産業省「鉱工業指数」第3次産業活動指数、内閣府「機械受注統計」、総務省「家計消費状況調査」、財務省「貿易統計」より作成。

※「前年比」は全体、「ICT・前年比」はICTのみの前年比。「ICT・寄与度」は「前年比」の内ICTの寄与度がどれだけかを表す。

例:2019年7-9月期の財の前年比-0.8%の内、ICTが寄与した分が-0.6%。

※機械受注(民需)は船舶、電力を除いた値。

【2019年7-9月期の動向】

(ICT 経済総合)

- 国内 ICT 経済は前年同期比 2.0%と 3 期ぶりに増加に転じた。前期に比べて 2.1 ポイント増加した (図表 2)。

(ICT サービス)

- ICT サービスは前年同期比 3.9%と 20 期連続で増加した (図表 3)。
- 受注ソフトウェア、ゲームソフトの増加幅が拡大した。

(ICT 財)

- ICT 財は前年同期比マイナス 5.1%と 3 期連続で減少した (図表 4)。
- 半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置、電子デバイス、集積回路は減少幅が縮小し、電子計算機は増加幅が拡大した。

(ICT 在庫)

- ICT 在庫は前年同期比マイナス 10.8%と減少に転じた (図表 5)。
- 電子デバイス、民生用電子機械が減少に転じた。

(ICT 消費)

- ICT 消費は前年同期比 7.5%と 15 期連続で増加した (図表 6)。
- スマートフォン等の本体価格、テレビ、パソコンは増加幅が拡大したが、スマートフォン等の通信・通話使用料の増加幅が縮小した。

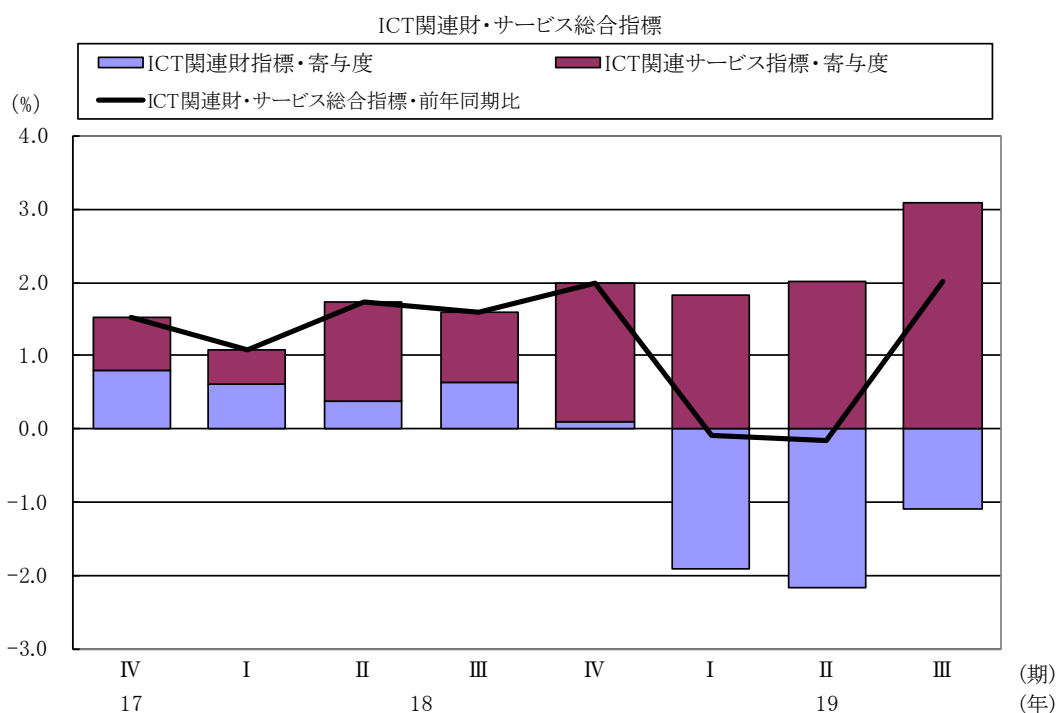
(ICT 設備投資)

- 民需(除く船舶・電力・携帯電話)は前年同期比 4.1%と 3 期ぶりに増加に転じた (図表 7)。
- 電気計算機等が増加に転じ、通信機は増加幅が縮小した。
- 官公需は前年同期比 9.1%と 2 期連続で増加した。

(ICT 輸出入)

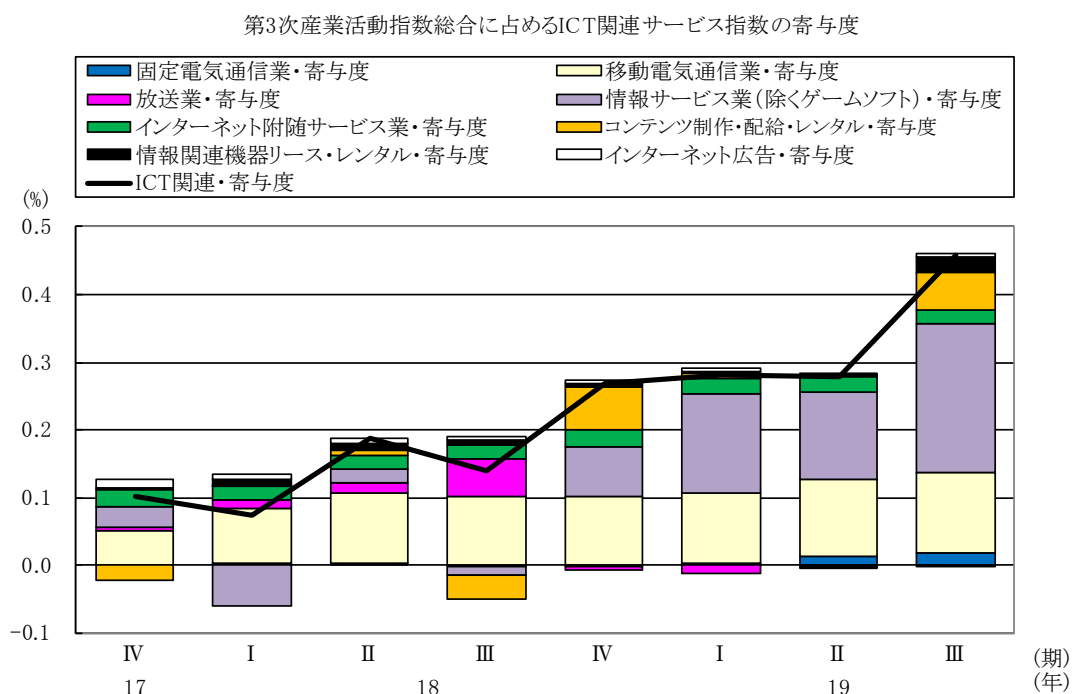
- ICT 輸出(金額ベース)は前年同期比マイナス 9.7%と 4 期連続で減少した (図表 8)。半導体等電子部品は減少幅が縮小したが、通信機、半導体等製造装置の減少幅が拡大した。数量ベースではマイナス 9.1%と 5 期連続で減少した。
- ICT 輸入(金額ベース)は前年同期比マイナス 3.8%と増加から減少に転じた (図表 9)。通信機は減少に転じたが、半導体等電子部品、半導体等製造装置の減少幅が拡大した。数量ベースでは同 8.0%と 2 期連続で増加した。

図表 2 ICT 関連財・サービス総合指標の推移



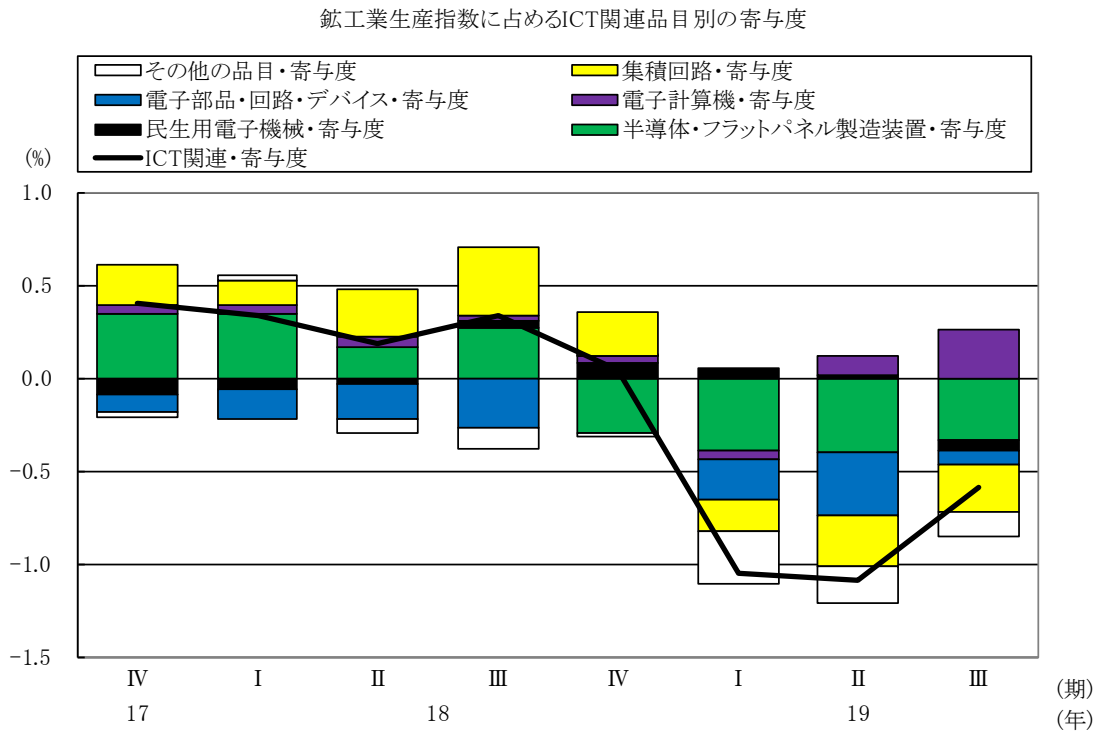
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」「第3次産業活動指数」より作成。

図表 3 第3次産業活動指数に占める ICT 関連サービスの寄与度

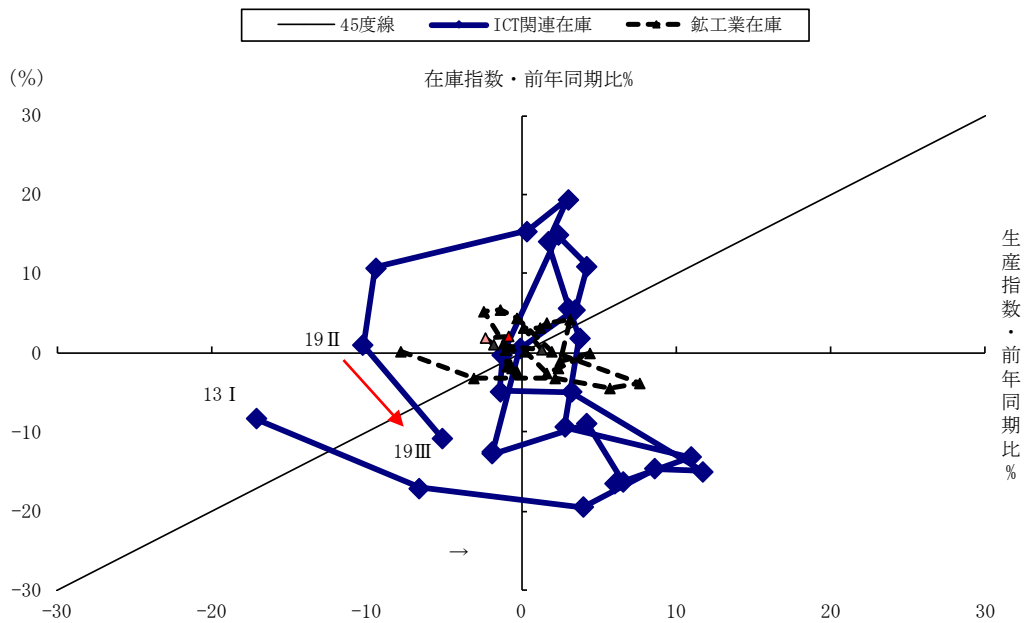


(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

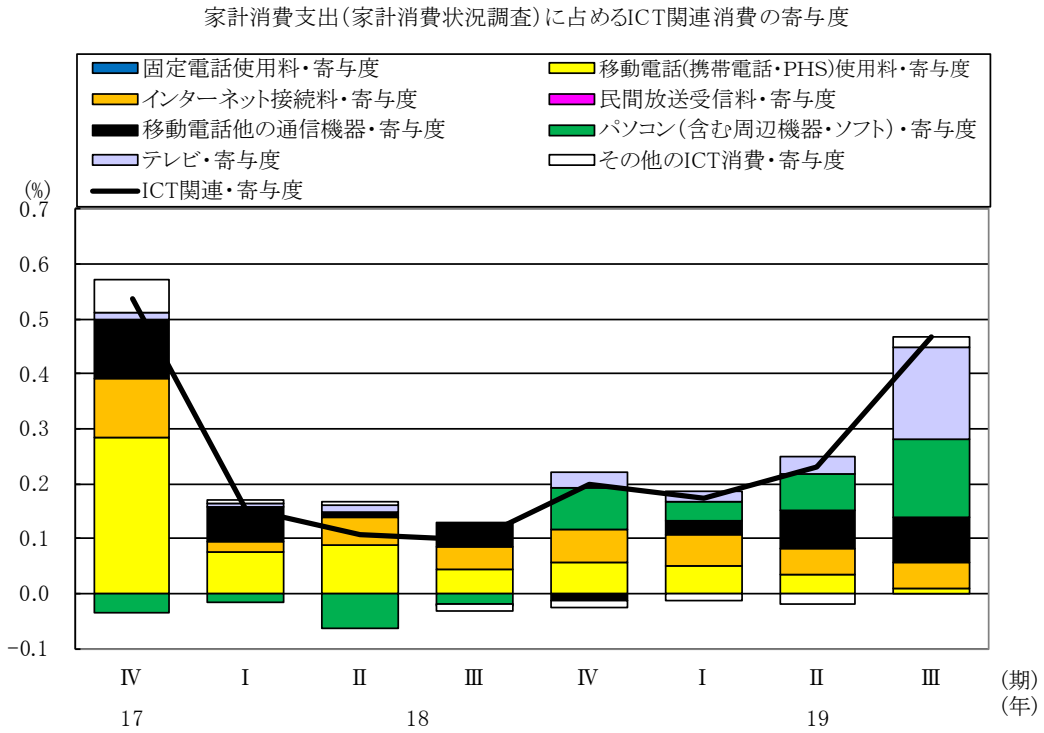
図表4 鉱工業生産に占める ICT 関連品目の寄与度



図表5 ICT 関連在庫循環図(四半期)

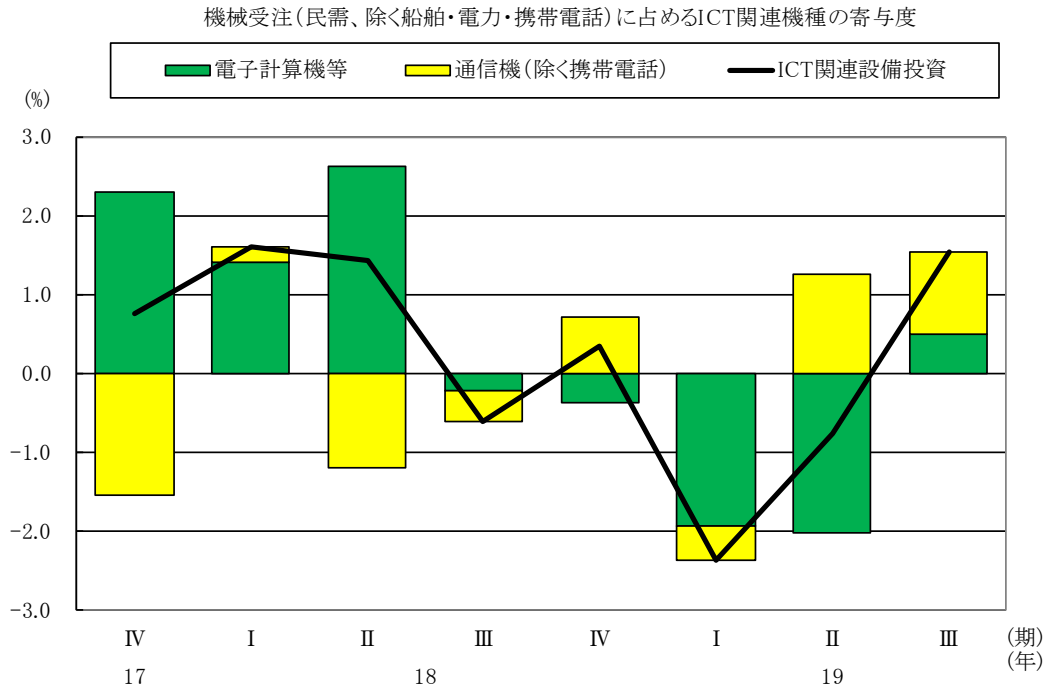


図表6 家計消費支出（家計消費状況調査）に占める ICT 関連消費の寄与度



(出所)総務省「家計消費状況調査」より作成。

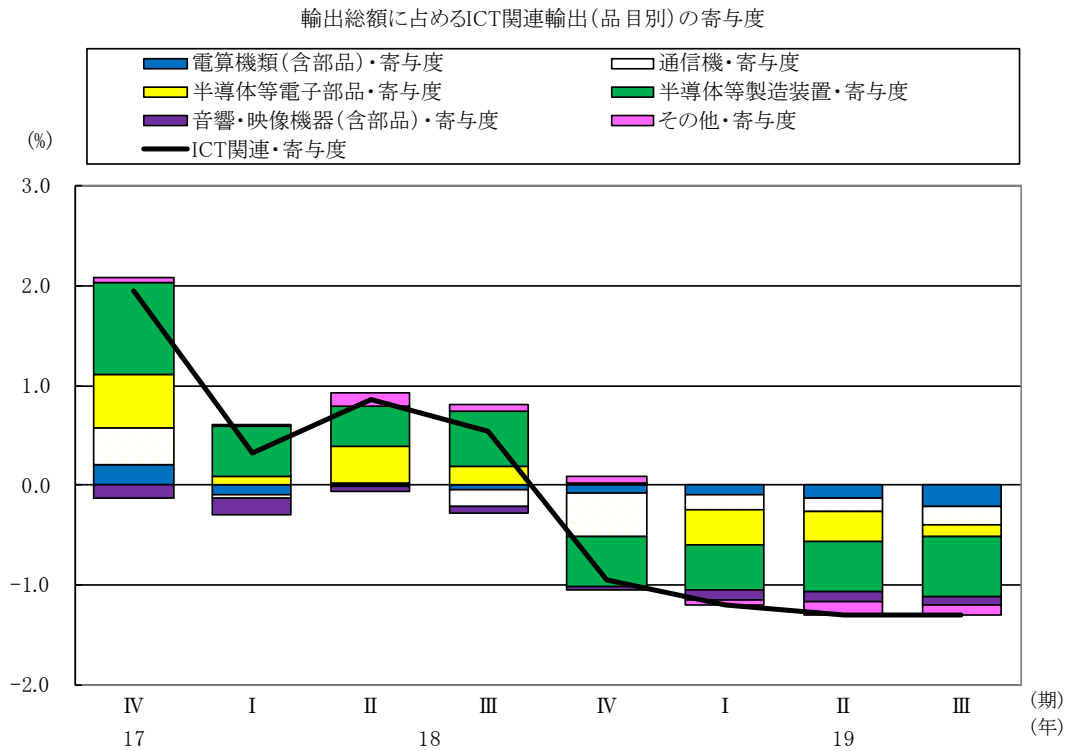
図表7 設備投資※（民需、除く船舶・電力・携帯電話）に占める ICT 関連機種の寄与度



(出所)内閣府「機械受注統計調査」より作成。

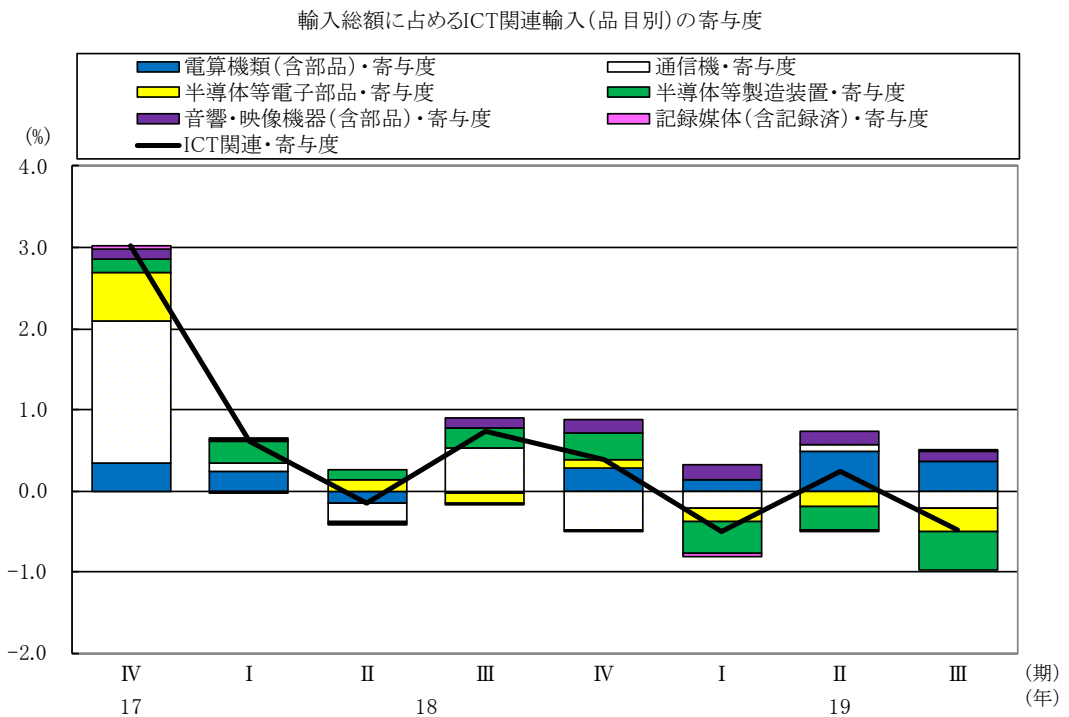
※ここでいう設備投資は機械受注統計で代用している。

図表 8 輸出総額に占める ICT 関連輸出（品目別）の寄与度



(出所) 財務省「貿易統計」から作成。

図表 9 輸入総額に占める ICT 関連輸入（品目別）の寄与度



(出所) 財務省「貿易統計」から作成。

参考 ICT 関連経済指標に採用した項目

	ICT関連生産指標	ICT関連サービス指標	ICT関連設備投資指標 (民需、官公需)	ICT関連消費指標	ICT関連輸出入指標
元の統計	経済産業省 「航工業指数」	経済産業省 「第3次産業活動指数」	内閣府 「機械受注統計」	総務省 「家計消費状況調査」	財務省 「貿易統計」
採用 項目	電線・ケーブル※A1	固定電気通信業	電子計算機※C1	固定電話使用料※D1	事務用機器※E1
	半導体・フラットパネル ディスプレイ製造装置※A2	移動電気通信業	通信機※C2	スマートフォン・携帯電話・PHSの 通信・通話使用料※D2	電算機類(含周辺機器)※ E2
	事務用機器※A3	受注ソフトウェア※B1	半導体製造装置※C1	スマートフォン・携帯電 話・PHSの本体価格※D3	電算機類の部分品※E2
	電気計測器※A1	ソフトウェアプロダクト※ B1	電子計算機等※C3	ファクシミリ付固定電話機 ※D1	通信機※E3
	有線通信機械※A4	システム等管理運営受託※ B1		インターネット接続機能付 固定電話機※D4	半導体等電子部品
	無線通信機械※A4	その他の情報処理・提供 サービス※B1		携帯情報端末(PDA)※ D5	科学光学機器※E4
	電子計算機	放送業※B2		カー・ナビゲーション※D1 ※D6	半導体製造装置※E5
	電子部品	インターネット付随サービ ス業※B3		テレビ※D7	記録媒体(含記録済)※E5
	電子デバイス※A5	映像情報制作・配給業※B2		パソコン(ノート型を含 む。周辺機器・ソフトは除く)	【輸出のみ】通信ケーブル ※E5
	電子回路※A5	音声情報制作業※B2		ステレオセット※D1	【輸出のみ】映像記録・再 生機器※E5
	半導体素子※A6	情報関連機器リース		デジタル放送チューナー・ アンテナ※D1	【輸出のみ】テレビ受像機 ※E5
	集積回路	情報関連機器レンタル※B1		ビデオデッキDVDレコー ダープレイヤー等を含む	【輸出のみ】音響機器※E5
	その他の電子部品※A7	音楽・映像ソフトレンタル ※B2		テレビゲーム(ソフトは除 く)※D10※D11	【輸出のみ】音響・映像機 器の部分品※E5
	電池※A8	インターネット広告※B2		カメラ(使い捨てのカメラ は除く)※D12	【輸出のみ】電池※E5
その他の電気機械※A9			ビデオカメラ※D13	【輸入のみ】音響・映像機 器(含部品)※E5	
民生用電子機械※A8			インターネット接続料※D14	【輸入のみ】記録媒体(含 記録済)※E5	
情報端末装置※A10			CATV受信料(受信)※ D1		
			衛星デジタル放送視聴料※		
集計方法	ウェイト(付加価値額)を 用いて集計	ウェイトを用いて集計	合計(民需は船舶・電力を 除く値)	合計(農林漁家世帯を含む2 人以上世帯)	合計
注	※A1: 2003年以降廃止	※B1: 1998年以降採用	※C1: 2017年6月以降廃止 (電子計算機等に統合)	※D1: 2015年以降廃止	※E1: 2005年以降廃止
	※A2: 2012年以前は半導 体・フラットパネル製造装 置、2002年以前は特殊産業 用機械	※B2: 2008年以降採用	※C2: 2005年4月以降携帯電 話機が別計	※D2: 2014年以前は移動電 話(携帯電話・PHS)使用 料という名称	※E2: 2005年以降採用
	※A3: 2002年以前は事務用 機械、2007年以前はその他 の一般機械、2012年以前は その他の業務用機械	※B3: 2003年以降採用	※C3: 2017年6月以降採用	※D3: 2014年以前は移動電 話機(携帯電話機、PHSの本体 価格と加入料)という名称	※E3: 1988年以降採用
	※A4: 2013年以降採用、 2012年以前は通信機械だ ったものが別計			※D4: 2008年以降廃止	※E4: 2007年以降廃止
	※A5: 2013年以降採用、 2012年以前は電子部品と半 導体素子だったものが再編			※D5: 2006年以降廃止	※E5: 2007年以降採用
	※A5: 2013年以降採用、 2012年以前は電子部品と半 導体部品だったものが再編			※D6: 2007年以前はイン ターネット接続機能付き カー・ナビゲーション	
	※A6: 2013年以降廃止			※D7: 2009年以前はデジ タル放送チューナー内蔵と内 蔵以外を集計	
	※A7: 2012年以前は半導体 部品			※D8: 2014年以前はパソ コン(ディスプレイのみ、 キーボードのみを含む)と パソコン用周辺機器・ソフ トが別計。2015年以降は ディスプレイのみ、キ ーボードのみを除く	
	※A8: 2003年以降採用			※D9: 2009年以前はデジ タル放送チューナー内蔵と内 蔵以外を集計	
	※A9: 2003年以降採用、 2008年以降廃止			※D10: 2014年以前はテレ ビゲーム(ソフト含む)	
	※A10: 2003年以降採用、 2012年以前はその他の情報 通信機械			※D11: 2009年以前はイン ターネット接続機能付きテ レビゲーム機	
				※D12: 2007年以前はデジ タルカメラ	
				※D13: 2007年以前はデジ タルビデオカメラ	
				※D14: 2014年以前はイン ターネット接続料(プロバ イダ料金など※D15)とケー ブル受信料(インターネット接 続サービスとセット契約の 場合)が	
			※D15: 2009年以前はプロ バイダー料と通信料、プロ バイダー料を集計		

「InfoCom ICT 経済アップデート」の主な内容

- 情報通信産業のマクロ経済への寄与度及び個別品目（サービス）の寄与度の分析
財・サービスの生産面、需要面について、ICT 関連経済指標を作成し、マクロ経済の動向を示す総合経済指標の増減に対して、情報通信産業の寄与について定性的、定量的に分析。
- 情報通信の在庫循環分析
情報通信生産と情報通信在庫の循環を分析。
- ※ ICT 関連経済指標は、九州大学篠崎彰彦研究室で開発された指標を、情報通信総合研究所で維持・更新し、必要に応じて改善しているものです。

<会社概要>

社名 株式会社情報通信総合研究所 (www.icr.co.jp)

1985年6月設立。情報通信専門のシンクタンクとして、情報通信分野の専門的調査研究、コンサルティング、マーケティング、地域情報化にかかわる調査・提案などのビジネスを展開するとともに、これらに関するノウハウ・データを蓄積してきた。近年は、ICTの急激な進展に伴い、研究分野をさらに拡大することでICTが経済社会にもたらす変化を定量的に把握する手法を開発するなど、広く社会の発展に寄与する情報発信・提言を行う最先端のシンクタンクとして事業を展開している。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-14-10 アーバンネット日本橋ビル

TEL 03-3663-7153 / FAX 03-3663-7660

株式会社情報通信総合研究所 ICT 経済分析チーム

主席研究員 野口正人

上席主任研究員 手嶋彩子

主任研究員 山本悠介、鷺尾哲

※本稿の内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

野口正人 (noguti@icr.co.jp)

山本悠介 (yamamoto@icr.co.jp)